

我が国周辺水域資源評価等推進委託事業

資源動向調査（ムロアジ類）

住友寿明・吉見圭一郎

和歌山県と共同でムロアジ類の調査を実施し、このうち本県は漁獲量調査と魚体測定調査を実施した。なお、本県で漁獲されるムロアジ類のほとんどがマルアジなので、本種を対象に調査を行った。

1. 調査方法

(1) 漁獲量調査

紀伊水道外域で操業する中型まき網1統の漁獲成績報告書を整理した。また、鞆浦漁協の大型定置網1統と宍喰漁協の全ての小型定置網について、マルアジの漁獲量を調べた。

(2) 魚体測定調査

宍喰漁協の小型定置網で漁獲されたマルアジの尾叉長を、毎月1回の頻度で測定した。宍喰漁協の小型定置網で漁獲されたマルアジについては、尾叉長、体重、性別、生殖腺重量を計4回(4, 5, 10, 11月)測定した。

2. 調査結果

(1) 漁獲量調査

2013年2～6月における中型まき網のマルアジの漁獲量は74トンであった。前年同期の132%、2002～2012年の平均漁獲量の73%で、昨年より多いものの低水準であった(図1-1)。

2013年における定置網のマルアジの漁獲量は48トンであった。前年の358%、2002～2012年の平均漁獲量の230%で、2002年以降では、2002年に次いで高水準であった(図1-2)。

(2) 魚体測定調査

宍喰漁協の小型定置網で漁獲されるマルアジは尾叉長12cmの当歳魚が主群であり、秋から入網し始め、翌春まで続いた(図2)。

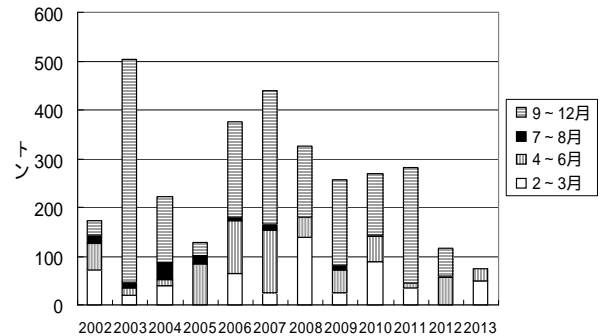


図1-1. 中型まき網におけるマルアジの漁獲量の経年変化

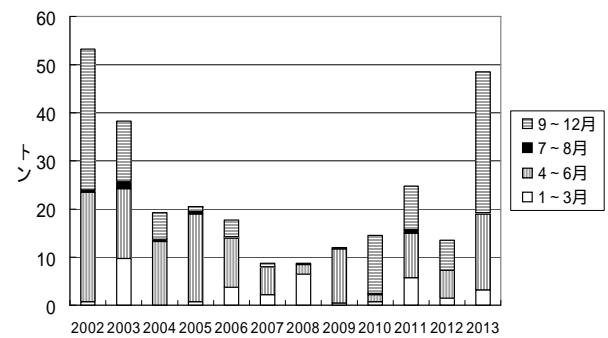


図1-2. 定置網におけるマルアジの漁獲量の経年変化。鞆浦漁協の大型定置網と宍喰漁協の小型定置網の漁獲量を合計した。

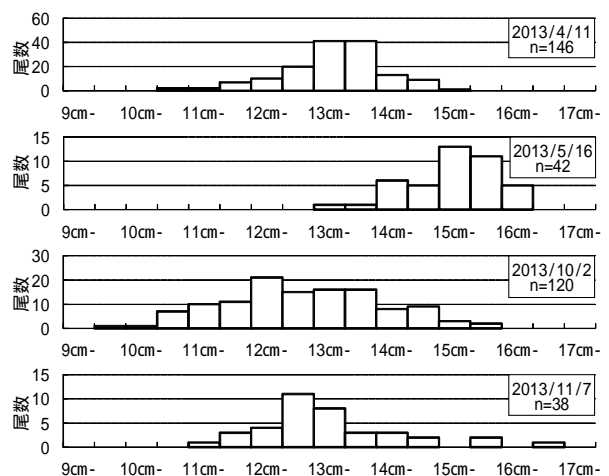


図2. 宍喰漁協の小型定置網に入網したマルアジの尾叉長組成。